



学校評価特集号  
平成30年3月  
京都市立柏野小学校  
校長 尾松 廣明

## 第2回 学校評価へのご協力ありがとうございました

お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。みなさまからの評価とご意見を集約し、今年度の成果と課題として整理しました。回答率は**74%**（前回は71%）でした。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない  
「◎」か「○」という結果が出た項目を、「達成している」項目と考えています。

	保護者の方々に回答をお願いした評価項目		◎+○の割合
学校の取組について	①	学校は、教育方針や取組を学校だよりやHP、懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	99→ <b>99%</b>
	②	学校は、一人一人の子どもを大切にしたい学校づくりに取り組んでいる。	98→ <b>97%</b>
	③	学校は、様々な取組や行事を通して、家庭・地域と連携し、子どもの教育を進めている。	100→ <b>100%</b>
	④	教職員が熱意をもって教育を進めていることが保護者に伝わっている。	100→ <b>97%</b>
	⑤	学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	99→ <b>98%</b>
	⑥	子どものことについて学校に気軽に相談できる。	98→ <b>97%</b>
	⑦	教職員は、保護者や来訪者などにていねいに対応している。	100→ <b>99%</b>
子どもについて	⑧	子どもは、楽しく学校へ行っている。	96→ <b>97%</b>
	⑨	子どもは、しっかりとあいさつができています。	91→ <b>87%</b>
	⑩	子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	94→ <b>88%</b>
	⑪	子どもは、宿題など家庭学習を決められた時間（15分×学年）取り組んでいる。	77→ <b>76%</b>
	⑫	子どもは、家でも15分くらいは読書している。	40→ <b>43%</b>
	⑬	子どもは、日頃から体を動かすことをいとわない。（スポーツや外遊びを含む）	94→ <b>90%</b>
家庭で	⑭	家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など、基本的な生活習慣が身に付くようにしている。	95→ <b>88%</b>
	⑮	家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	100→ <b>99%</b>

左側は前回7月の結果

### ●保護者の評価結果から・・・

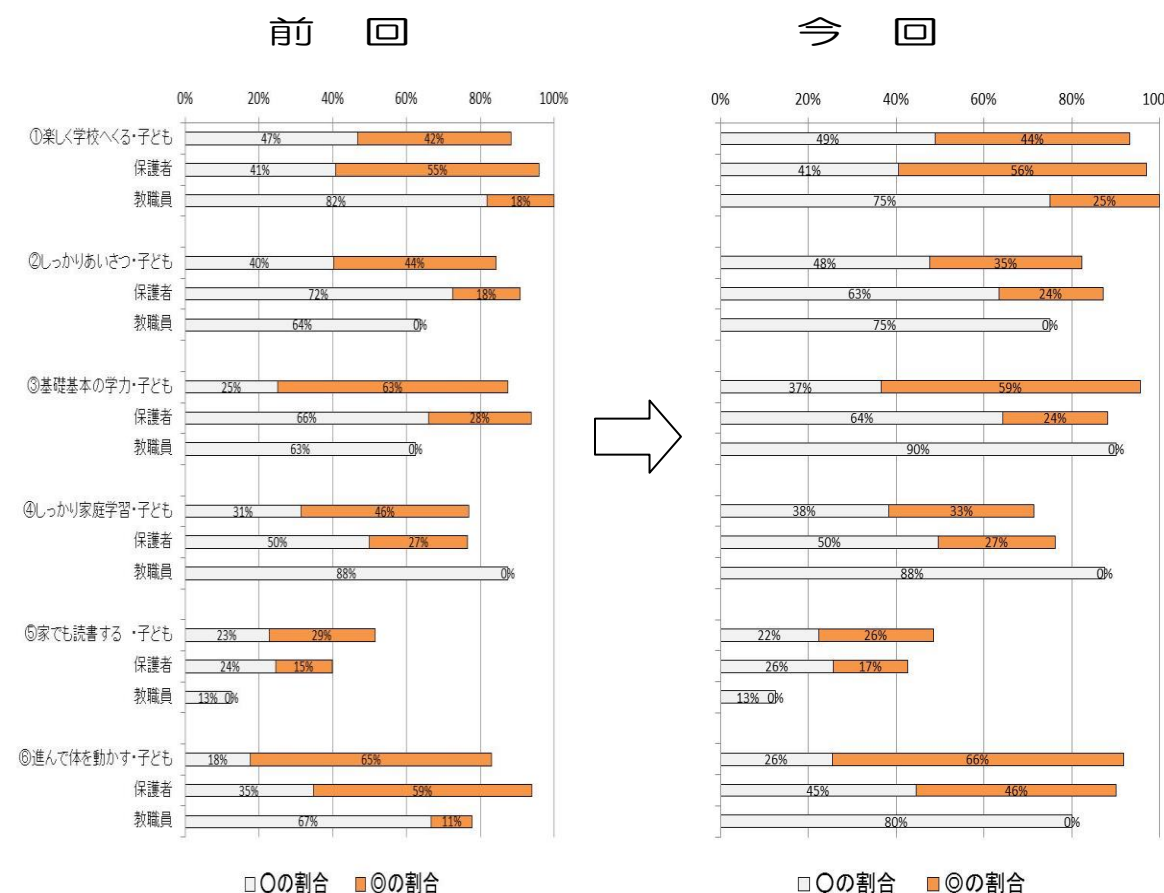
例年、達成率の低い「⑪家庭学習」「⑫家庭での読書」以外は、およそ9割以上と高い達成率でした。しかし、「⑩基礎的な学力」、「⑬体を動かすこと」、「⑭生活習慣」が下がりました。

## ◇「子どもたちのようす」について … 代表的な6項目の結果を比較

この6項目は、子ども・保護者・教職員の評価に 共通する内容の項目です。

評価項目の主旨	◎+○の割合			左側は前回	
	子ども		保護者	教職員	
①楽しく学校へ来ている。	88→	<b>93%↑</b>	96→	<b>97%</b>	100→ <b>100%</b>
②しっかりあいさつしている。	84→	<b>82%</b>	91→	<b>87%</b>	64→ <b>75%↑</b>
③基礎基本の学力を身につけている。	88→	<b>96%↑</b>	94→	<b>88%↓</b>	63→ <b>90%↑</b>
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	77→	<b>71%↓</b>	77→	<b>76%</b>	88→ <b>88%</b>
⑤家でも読書している。	51→	<b>49%</b>	40→	<b>43%</b>	13→ <b>13%</b>
⑥すすんで体を動かそうとしている。	83→	<b>92%↑</b>	94→	<b>90%</b>	78→ <b>80%</b>

5ポイントを超える変化に↑↓



### ◆楽しく学校へきている

子どもの達成率が上がりました。しかしながら、△の評価をした子どもたちが数人います。その要因を探って、みんなが学習も遊びも学校生活が楽しいと感じられるように取り組んでいきます。達成率（◎+○）100%を目指しています。

◆しっかりあいさつをしている

教職員の評価が、○評価ですが、ぐんと上がりました。衣笠中ブロックでの共通した取組、校内では児童会が中心となって柏野あいさつプロジェクト（あいさつ運動）の取組を展開し、子どもも教職員も意識が高まってきたところです。「大きな声で、自分から、相手の目を見て」と高い目標を据えて取り組んでいる最中ですので、粘り強く働きかけていきましょう。

◆基礎・基本の学力を身につけている

保護者はやや下がりましたが、子どもと教職員の達成率が上がりました。成績に必ずしも現れていないこともあるかもしれませんが、「教室でする学習がよくわかる」という成就感、達成感を感じている子が増えたことは嬉しい事実です。その「わかる」という感覚に見合った基礎・基本の学力がつくよう、これからは個々の実態に合わせたきめ細かい指導を行っていきます。家庭学習を含め、ご家庭も協力をお願いします。

◆しっかり家庭学習に取り組んでいる

年度末のこの結果は、三者とも昨年度の数字にかなり近いものです。ただ、子どもたちの結果に注目すると、7月からは下がったものの、昨年（68→66%）より高いところでの推移ですので、取り組む意識が少しついてきたと捉えられないでしょうか。学校では、学年に応じた時間を目安に、宿題だけでなく課題意識をもって自主的な家庭学習ができることを目指しています。どのような手立て（学習の方法）がよいかなどお悩みがあれば、ぜひ担任にご相談ください。

◆家で読書している

例年のように達成率の低いところで横ばいの評価結果です。今回も半数の子さえ達成していないという結果になりました。特に教職員の評価結果が低く留まっていることは、大きな反省材料として次年度に生かして行きます。図書室を含め読書環境の改善、読書意欲の向上につながる取組などを進めます。また、ご家庭では、生活時間の使い方や生活習慣なども見直されてはいかがでしょうか。春休みは読書するよい機会です。本に親しむ時間や機会をぜひつくりましょう。

◆進んで体を動かそうとしている

子どもたちの結果は大きく上がっています。今回、結果に学年による差はほぼありませんでした。学校では、寒い日が多かったこの冬の間も、いろいろな場面で活発に活動している子どもたちの姿が目につきました。日々の遊びや日常生活から体育の学習、そして、いろいろなスポーツへの親しみへと意識が高まっていくことを期待して、今後も子どもたちの運動欲求を高める取組を進めます。

●子どもたちの評価結果から・・・

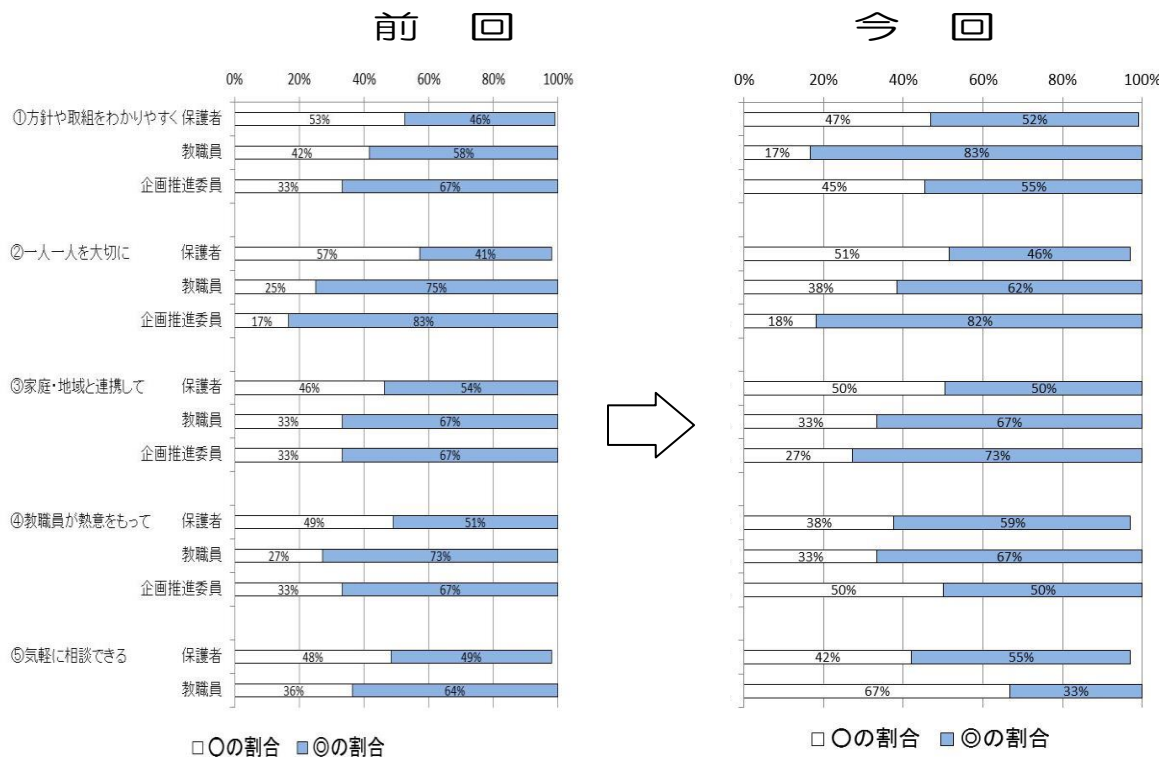
14の評価項目のうち、7項目で結果が上がりました。年度末を迎えて、子どもたちの行動や表情が変わってきたなど感じることがあります。日頃の学習や学校行事、課外学習等々、特に異学年が集まる集会の場面や学校外の人と接する場面などで、自信をもって表現したり活動したりできる子が増えてきました。評価結果はよくても、実際にできているかという項目もありますが、「自分自身の力を発揮する学校づくり」という学校教育目標が少し実現している場面を見るにつけ嬉しく感じます。

「規則正しい生活ができているか」とう項目は、昨年からどんどん結果が下がってきています。しかし、保護者の評価結果から意識の高さを感じますので、改善を期待しています。

◇「学校の取組」について … 代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、保護者・教職員・企画推進委員の評価に 共通する内容の項目です。

項 目 の 主 旨	◎＋○の割合				左側は前回	
	保護者		教職員		企画推進委員	
①方針や取組をわかりやすく伝えている。	99→	99%	100→	100%	100→	100%
②一人一人の子どもを大切にした学校づくり。	98→	97%	100→	100%	100→	100%
③家庭・地域と連携して教育を進めている。	100→	100%	100→	100%	100→	100%
④教職員が熱意をもって教育を進めている。	100→	97%	100→	100%	100→	100%
⑤子どものことについて気軽に相談できる。	98→	97%	100→	100%		



◆すべて非常に高い達成率で、今年度も学校の取組を概ね支持していただいたものと考えます。記述欄には、保護者の方から担任・学校の取組に対する感謝の言葉もいただいています。至らぬ点のご指摘もありました。学校運営協議会の企画推進委員からは、今年もいくつかお褒めの言葉をいただきました。

また、改善策を話し合う中では、この学校評価にご回答いただけなかった方々のお考えもたいへん重要なのではないかという意見が出ています。もし、「関心がない、言いたくても言えない」といった理由であるならば、至急改善すべき重要な課題の一つであると考えます。

来年度も、保護者や地域の皆様と一緒に、さらに柏野教育を充実発展させていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。